

自己評価結果票

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1 ○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は「真心・快適・安心」とし、地域の中での活動にも積極的に参加して頂きお一人おひとりの個性を活かしたその人らしい生活を送って頂けるよう支援している。		
2 ○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関ホールに掲示しており、職員が常に意識して取り組めるようにしている。		
3 ○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	毎月入居者の地域での生活をご家族の方へお手紙と写真にて報告している。		
4 ○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	管理者や職員は日常的に挨拶を交わすことが出来ている。また近隣を散歩することで入居者、職員であることを見知って頂いている。		
5 ○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	回覧板の受け渡しや地域の清掃作業に参加している。また月1回のふれあい喫茶には必ず参加している。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
6	○事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣の高齢者のご家族の方が気軽に相談して頂けるよう管理者、職員は日常多くのコミュニケーションを持つようにしている。またホームには日常管理者がいるため近隣の方も気軽に足を運んで下さっている。		
7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回指導を受けた点を中心に改善、あるいは改善すべき努力をしている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催し、ホームの活動報告や現状についてを話し合い、自治会や民生委員、近隣の方々からアドバイス頂きサービスの向上に努めている。		
9	○市町との連携  事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業に関する事でわからないところや疑問点があった場合にはその都度相談している。市、町の研修等にはできる限り参加している。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している		○	定期的に勉強会を開催するなどして職員の知識の向上に努めていきたい。
11	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議や日々のミーティングで資料など配布し、話し合うことにしている。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得	契約時には重要事項説明書を用い十分に理解して頂けるよう説明を行っている。また確認のため重要事項説明書にも署名捺印頂いている。		
	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
13	○運営に関する利用者意見の反映	日常での職員と入居者の会話を多く持つようにし、要望や不満などを伺うようにしており、ご家族の方からの意見も日々の業務に反映させるよう努力している。		
	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
14	○家族等への報告	入居者の健康状態や気分の状態に少しでも変化があった場合はご家族へこまめに報告するようにしている。また月に一度お手紙にて現状を報告している。		
	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている			
15	○運営に関する家族等意見の反映	苦情相談の窓口を設けている。また来訪時にご意見、ご要望を伺うようにしている。		
	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
16	○運営に関する職員意見の反映	職員の意見や提案がある場合にはその都度管理者に提言できる雰囲気作りをしており、また職員全体でミーティングを行う時に再度話し合うようにしている。		
	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている			
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整	入居者の状況に応じた職員の体制をとれるよう努めている。また職員の希望等も聞き、話し合いにより勤務の調整を行っている。		
	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている			

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職を最小限に抑えたいためスタッフ間の関係等に気を配り職員からの意見をなるべく多く取り入れるよう職場作りに努めている。またやむをえない職員の離職に関しては入居者に不安感を与えないよう配慮している。</p>		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
<p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間の研修計画を立て2ヶ月に一度程度の研修を行うよう努めている。またその際には専門の講師に指導してもらうようにしている。</p>		
<p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>長田区グループホーム連絡会に参加し情報交換し、サービスの質の向上に努めている。</p>		
<p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員の個性を活かしたレクリエーション等をしてもらい楽しく仕事ができる環境づくりに取り組んでいる。親睦会等も開催している。</p>		
<p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員個々の努力や実績、勤務状況は把握できている。</p>	○	<p>外部での様々な研修を受ける機会を多く持ってもらえるよう努めていきたい。</p>

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居に至るまで見学や面談の時に利用者本人の思いを受け入れられるよう職員全体で取り組むよう努力している。	
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学から入居に至るまでご家族の不安を取り除けるよう相談しやすい環境づくりに努めている。	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者本人がその時必要としている支援について相談があれば、ケアマネも含め話し合う機会を持つよう努めている。	
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が入居されその人らしい暮らしができるかまた他の入居者の方との雰囲気馴染んで頂けるか体験入居をして頂き、ご家族ご本人と相談する機会を設けている。	
27	○利用者と共に過ごし支えあう関係  職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	その人らしい生活をいただくため職員と入居者は協力し食事作りや物づくりに取り組んでいる。会話する時間を多く持っているため入居者から学んだり親近感を持つ気持ちは大きい。	

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
28	○利用者を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	ホームでの行事等にはご家族の方にも積極的に参加して頂き、職員とも話す機会を多く持つて頂けるよう努めている。		
29	○利用者と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者の要望や不安等をご家族とホームが共有し面会に来られた時には楽しい時間を持って頂けるよう雰囲気作りに努めている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの近隣の方がいる場合には職員同行にて散歩へ行った際や地域活動に参加している時等に思い出話などされている。		
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お一人おひとりの個性を職員全体が把握し入居者同士が気持ちよくおつきあいして頂けるよう関わりの持ち方にも工夫している。		
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後、そのご家族の方にも自分の家と思って頂けるような関係づくりに努めている。退所後もご家族の方にはホームでの行事等に参加して頂いている。		



項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お一人おひとりと会話する時間を多く持ち希望や意向を把握できるよう努めている。また1日に2回行う申し送りで職員全体が把握できるよう努めている。	
34	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際のアセスメントに加え、日々の会話やご家族からの情報によりその人らしい生活をして頂けるよう努めている。	
35	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	お一人おひとりに合った一日の過ごし方ができるよう職員全体で話し合い質のよいサービスが提供できるよう努めている。心身状態は日々変化があるものなので細かく申し送りするよう努めている。	
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、職員がそれぞれの意見を出し入居者がより良く生活して頂けるようケアマネが意見を反映させた介護計画を作成し実行している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しもしているが、状態の変化に応じたケアを行い、それに適した新たな計画を作成している。またその都度ご家族への報告をしている。	

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の日々の状態や様子を個人ファイルへ記録し、情報を共有しながらケアを行っている。また連絡ノートでは職員からの入居者の気づき等を記録し計画の見直しに活用している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	日常生活での活性化や他者との交流を図るため関連事業所が行っている他施設への訪問を入居者、ご家族に参加して頂いている。		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議に民生委員の方に参加して頂いている。ホーム行事ある場合等にはボランティアに積極的に参加してもらっている。		
41	○他のサービスの活用支援  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の他のケアマネとの交流があり情報交換や意見を仰ぐことがある。		
42	○地域包括支援センターとの協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センター主任ケアマネに参加して頂き意見を伺っている。		



項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
43 ○かかりつけ医の受診支援  利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間対応可能なかかりつけ医が月2回往診し、緊急時や休日に具合が悪くなった場合でも往診、または応急の支持をしてくれる。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい医師と関係を築きながらご家族の了解のもとで診断や治療ができるよう支援している。		
45 ○看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている		○	地域の看護職との連携を今後図っていきたい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された場合には病院との情報交換や相談に努め早期退院に向けた取り組みを行いご家族との連絡も密にとるよう努めている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期や急変時の対応についてはご家族との話し合いの機会を多く持つようにしている。職員全体でも方針についての対応を繰り返し話し合っている。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医との情報を共有しホームが最大限できることに向けて取り組んでいる。今後の変化に備えてご家族や職員で検討を行っている。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居者が別の居所へ移り住む際には住み替えによるダメージを最小限におさえるため十分な情報交換を行うよう努めている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員に対しては面接の時点から個人情報の説明をしておき対応には十分注意している。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	出来る限り入居者の方が希望を自然に表せるような声かけ、雰囲気作りに努めている。		
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念に基づき「自分の家」としての生活をして頂くため「強制しない」「介護しすぎない」を心がけ日々支援を行っている。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	外出の際やその日の気分でお化粧をされたりおしゃれをされたりしている。ご本人の希望により地域の理髪店や美容院へ行けるよう支援している。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と職員が一緒に和気あいあいと食事作りや後片付けができています。その日の気候等や旬をいかした食事ができるよう心がけている。		
55 ○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居者が望むおやつや飲み物については買い物へ同行し支援している。出来る限りおやつも手作りの物にし、入居者にもおやつ作りを手伝って頂くようにしている。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表やお一人おひとりの状況に合わせた排泄の支援を行っている。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には一日おきの入浴としている。入浴時はお一人おひとりのペースを大切にゆったりと入浴して頂けるよう支援している。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝時間などは設けず個々のリズムに応じ安眠・休息の支援を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の力や生活歴に応じた家事や家庭菜園、レクレーションに積極的に参加して頂いている。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持されている方には買い物へ職員が同行する等の支援を行っている。またご自分でお支払い、職員によりおつりの確認を行っている。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	できるだけ毎日の散歩を行うようにしている。その際、神社への参拝や買い物などもしている。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じて月2回程度の遠出の計画を立てご家族の方にもできるだけ参加して頂くよう支援している。		
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者の希望があればいつでも電話をかけられるよう職員が対応している。自室に電話がある方は自由に使用されている。また年賀状、暑中見舞いのハガキをご自身で作られご家族へ送付されている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	特に面会時間を設けず、いつでも気軽に立ち寄って頂けるような雰囲気作りに努めている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全体が理解しており、身体拘束はいかなる場合も行わないケアに取り組んでいる。		


項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	今後定期的に応急手当や初期対応の訓練を行っていきたい。
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居者に起こり得るリスクについてご家族に説明し、できる限りその人らしい暮らしを続けて頂けるよう対応策を話し合うよう努めている。		
73 ○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一日2回のバイタルチェックと常に顔色、状態の変化に注意をはらい異変があった場合には速やかに対応できるよう努めている。その旨は細かく申し送り時に職員間へ伝達できるよう心がけている。また月2回の往診時にもかかりつけ医に状態を報告している。		
74 ○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人おひとりの服用されている薬の種類と目的、用法、用量を全ての職員が理解できるよう掲示してある。服薬されるまでの見守り、確認を徹底している。		
75 ○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘予防のため毎日のラジオ体操と散歩をするようにしており、十分な水分補給にも気をつけている。医師の指示により薬を服用されている方もおり、その際の服薬確認を行っている。		
76 ○口腔内の清潔保持  口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後のうがいを実施している。就寝時義歯がある方は洗浄し、ポリドントにつけている。また毎週の訪問歯科により口腔指導や治療をうけている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お一人おひとりの毎食の摂取量、一日のトータルの水分摂取量を日々記録し管理している。また糖尿病やアレルギーがある方にはごはん量を調節したり食事に気をつけたりしている。		



項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを作成している。手洗いうがいを常に実施しており予防に取り組んでいる。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防のため毎日調理器具や布巾の消毒を行っている。安全な食材の使用に努めており、調理に携わる者は手洗いを特に念入りにしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	一戸建ての民家を利用しているため近隣の方々に親しみを持って頂いている。植物や野菜を入居者の方たちと一緒に育てている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングではお一人おひとりがゆったりと過ごして頂いている。近辺が住宅地なので騒音等はなく静かで気候の良い時はテラスで日光浴や食事をして頂いている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには全員が座れるソファを設置しており思い思いに過ごして頂いている。気の合う入居者同士や職員と談笑されていることが多い。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にて使用される家具等は馴染みのある物を持ってきて頂き使い慣れた物の中で居心地良く過ごして頂けるよう工夫している。</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>職員が常に温度調整に気を使い換気もまめに行っている。また臭いが気になる居室については消臭剤を置くなどして除臭に努めている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一戸建ての民家なので二階の居室の方は階段の昇降が必要となるが日々のよいリハビリにつながっている。廊下、階段、風呂場には手すりを設置できる限り自立した生活がおくれるよう工夫している。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>職員がお一人おひとりの力を把握しできる限り混乱や失敗をおこさない声かけの工夫をしている。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>テラスでは植物や野菜を育てており、水遣りや植え替えなど入居者に関わって頂いている。また天気の良い日はテラスでの食事もしている。</p>		

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		事業所が示す、取り組みの成果 (該当する箇所の番号の前に○印をつける)
項	目	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		事業所が示す、取り組みの成果 (該当する箇所の番号の前に○印をつける)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎食職員によりその日の気温や旬な食材を活かしての食事作りを一生懸命に取り組んでいます。また入居者も今までの生活暦を生かして積極的に食事作りに関わって頂き職員にとっても勉強になることが多い毎日です。入居者の方と職員とのコミュニケーションをとれる時間が多いので、入居者の身体面、精神面の少しの変化も早期に気付くことができていると思います。また一戸建ての民家を利用している為、正面玄関の階段、2階へ上がる階段が日々のリハビリにつながっており、現在当ホームの利用者で車イスを利用の方はいらっしゃいません。今後も精神面、体力面の向上に努めていきたいと思っています。